



せせらぎ

鹿北小学校便り
第11号
令和4年2月
文責 鶴田 史子

☆「まん延防止等重点措置」延長 感染防止対策へのご協力に感謝☆

熊本県の「まん延防止等重点措置」の期間延長に伴い、学校でも一層の感染防止対策を行い、教育活動の制限等にも留意しながら、学習をすすめているところです。

保護者の皆様には、毎日の検温や健康観察、マスクの準備など、ご協力いただきありがとうございます。子どもたちが体調不良を訴えた時には、登校を控え、早めに病院を受診していただいたり、ご家族の風邪症状等についても、速やかに学校へ連絡していただいたりとご協力いただいているおかげで、学校でも早めの対応ができています。新型コロナウイルス感染症は、いつ、誰が感染してもおかしくない状況であることは、日々の報道でも感じます。しかし、そこから広がらずにすむように、みんなで協力し、一人一人ができることをしていくことが大切ですね。引き続き、感染防止対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

★新型コロナウイルス感染症に伴う出欠の取扱い等について★

感染拡大を防止するため、児童本人に発熱、風邪症状、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚障がい等の症状がある場合や、同居家族に発熱等の風邪症状が見られる場合は「出席停止」とし、登校を控えていただいております。やむを得ず出席停止や自宅待機となった場合は、授業の ZOOM 配信の準備をしております。児童本人や同居家族の皆さんが感染したり、濃厚接触者になったり、PCR 検査を受けることになった場合は、直ちに学校までご連絡ください。

誰しものが感染する可能性があります。感染者やそのご家族を誹謗中傷するようなことのないよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ICT活用で先生も子どももステップアップ！

本年度、鹿北小・中学校はICT実践推進校として、子どもたちの「情報活用能力」の向上に向けて、研修・研究を進めてきました。各教室にあるICT機器「電子黒板」「デジタル教科書」「タブレット端末」等を使いながら学習を進めています。右の写真は、鹿北小学校が「**学校情報化優良校**」に認定された証の盾です。

子どもたちは、タブレット端末を「文房具」の一つとして学習に活用するようになってきています。プリント学習も、印刷した紙だけではなく、タブレット上で書き込むこともできるため、家庭学習（宿題）でもタブレットを使っている姿が見られるのではないのでしょうか。自宅でリモート授業を受ける時にも、この方法で、教室と同じプリントを使って学習することができます。

タブレットは「学習以外の目的では使用しない」ことになっています。ご家庭でも、適切な使い方をしているか、お子さんと話し合ってみてください。



★ある日の授業風景★



何度でも書いたり消したりしながら考えることができます。



デジタル教科書は、タッチひとつで大事な部分を大きく示し、確認することができます。



タブレット端末で作成したものを、電子黒板に映して、みんなに紹介しています。

電子黒板のタイマーを大きく表示。その間、子どもたちはタブレットを持って、写真を撮ってまわりました。



自宅からリモートで授業に参加。担任の先生からの指示を確認中です。休み時間には友達とも会話ができます。

こんな模様を簡単に描くことができます。イラストをぬり絵にして色付けもできるアプリです。



ICT機器を使うことで、授業の進め方も大きく変わってきました。教師も子どもたちも、まずは使って慣れることから始め、ICT支援員や熊本県教育委員会の指導主事のサポートもあり、今ではたくさんの機能を使いこなす姿が見られます。山鹿市に用意していただいている、タブレット端末やその他の機器は大切に使い、子どもたちがますます楽しく学習ができるよう今後も研修を重ねていきたいと思ひます。

☆学年末のまとめをしっかりと☆

12月に実施した熊本県学力・学習状況調査の個人票を持ち帰っています。(3～6年)個人票は、それぞれの得意なところ苦手なところが示してあり、昨年度との比較もされています。2月24日、25日は学力検査を予定しています。(1～6年)これまでに学習したことをもう一度振り返るとともに、家庭学習の仕方についても、自分に合った、よりよい方法を身につけていってほしいと思ひます。

